


心理学部 心理学科
教授 大森 慈子 OMORI Yasuko
専門・活動分野 生理心理学、感情心理学、社会心理学
最新の研究内容
テーマ：動物を含む他者との交流が心身の快適性に与える影響
研究/活動紹介
①非言語コミュニケーションに関する実験的検討

人と人との円滑なコミュニケーションのために、言葉以外のしぐさ、目の行動、表情、話し方、外見などが与える影響を調べています。対人場面における会話の進行や非言語行動について観察による分析を行ったり、表情筋や眼球運動などを測定して解析しています。特に、瞬目（まばたき）のコミュニケーション機能については、多岐にわたるデータ収集を行っており、一連の成果を得ています。非言語行動を理解することは、多文化共生や他者との共存に重要な知見を提供します。

②感情表出とリラクゼーションに関する健康科学的研究

笑顔や笑い行動について分析し、一緒にいる人に与える影響や、健康増進における役割を検討しています。感動における涙の量の測定や他者の涙を見ることによる心の変動も調べ、感情の表出と心身の健康の関係、特に年齢や文化の違いに着目しています。さらに、リラクゼーション時の心と身体の状態について、音楽を聴いている時、炎やろうそくを見つめている時、観葉植物、アクアリウム、星空を眺めている時、塗り絵の習慣などの効果を検討中です。

③動物との触れ合いにおける社会・生理心理学的検討

人以外の動物と共存してきた長い歴史の中で、家族にペットを迎える家庭が増え、人と動物の関係が見直されています。動物との触れ合いによる心理的・身体的・社会的な作用について、実際に動物の身体や被毛に触れるという触感と愛着を含めた心の交流の両側面から調べています。また、近年、注目されているぬいぐるみやペットロボットに心の拠り所を求める現象も取り上げ、感情や行動、身体反応、対人関係の変化に与える影響を、実験を実施して分析しています。

 <リラクゼーション状態における
生理反応測定の実験>

 <ペットロボットとの触れ合い時の
観察記録>

**産学連携/地域貢献へのアピールポイント、
相談可能事項**

- ・ コミュニケーション場面における行動や感情の測定について
- ・ 笑顔をはじめとする表情の分析や観察について
- ・ さまざまな物のリラクゼーション効果の評価
- ・ 生理反応などの測定による心身のリラクゼーション状態について
- ・ 動物との共生に関する心理的側面について
- ・ 触り心地のよさや「ふわふわ」「もふもふ」感について

学会・経歴

- ・ 日本心理学会
- ・ 日本生理心理学会（理事）
- ・ 日本社会心理学会
- ・ 北陸心理学会（理事）
- ・ 中部人間学会（副会長）
- ・ 福井県動物愛護管理推進協議会（会長）

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp